

# 皮膚科

## 1．2006 年度の目標及び方針

2005 年度は、美容皮膚科が新たに開設され、褥瘡往診も内容がより充実したものとなった。

年間に訪れる外来患者さまの数も、31,519 人から 34,905 人に増加し、医師等が各種勉強会や研修会等に参加した回数も大幅に増えた。これには、医師数の増加が寄与した。

今年度は、医師数が減少する中で、このレベルを維持するためには、相当の努力が必要であろう。

しかし一方では、光線療法の新しい医療機器の導入もすでに決まっており、たとえ一時的には採算がとれないものでも、診療レベルは絶えず引き上げていきたいと考えている。他方、医療費削減の折り、自費診療における治療費等については、若干の引き上げをすでに御願しているが、薬剤費についても引き上げをせざるを得ない状況に追い込まれている。

臨床において最も大切なことは、患者さまによく説明して納得のいく治療を受けていただくことであると考えており、長時間待っておられる患者さまにも配慮し、時間配分に留意しながらも、この点には今後も体力の続く限り、努力したい。なお、最先端治療の一つである生物学的製剤の臨床への導入は、治験が進行しているため、近いうちに、いくつかの皮膚科の重要な疾患でも治療シーンが大きく変わる可能性があり、大変期待出来るので、患者さまには、新たな期待や希望も持っていただきたい。

## 2．2005 年度評価

医師数の増加やスタッフの増員に伴い、治療内容の拡充や、患者さまへの説明に少し時間をかけることが出来た年度とはいえる。新任の医師達が自分の特長を生かして、新たな分野や今まで足りなかった点に挑戦してくれた年度でもあったし、皆で学会や研修会に参加する機会も増えた。それらのいくつかは、外来での臨床に役立てることも出来たように思う。往診件数も飛躍的に伸びた。

しかし皮膚科が 5 万ともいわれる膨大な疾患を抱える科である以上、研鑽には限りがなく、至らない点も限りがない。

## 3．業務紹介

常勤は、宮崎、田中、神戸(6 月まで)、関(7 月から)、根本(6 月まで)、浅田(8 月まで)である。毎週金曜日午前、東京医科歯科大学から佐藤助教授の診察がある。なお、月曜と水曜の午後は美容皮膚科外来があり、現在、田中が担当している。日曜、祝祭日以外では毎月第 3 土曜日は、学会(東京地方会)があり休診である。それ以外に年 1 回の日本皮膚科学会総会開催中の土曜日(今年度は 6 月 3 日)は休診である。

## 4．年間活動内容と実績

年間外来患者数は 34,905 人、年間手術検査件数は 487 件、年間入院患者数は 100 人、往診は 1,360 件であった。なお、院内倫理委員会を通した最先端治療が 1 件あった。

## 5．教育・勉強会関係など

学会や研修会には、今年度は 20 回ほど出席した。発表演題数も 17 題と例年より多かった。また毎週金曜日、午後 6 時頃から 9 時まで、外来症例の検討会や世界の学会誌からの検討、研鑽の機会を設けた。それ以外には、症例スライドを用いた皮膚科研修医向けの解説も随時行った。なお褥瘡に関する若手医師および看護師向けレクチュアを根本が 3 回、また、経験した興味深いいくつかの疾患の医師向けレクチュアを神戸が 1 回、東京医科歯科大学の興味深い教訓的症例や希少症例の皮膚科部内レクチュアを 3 年前に当科の常勤医だった箭原が 2 回、皮膚感染症に関する院内若手医師向けレクチュアを田中が 2 回、それぞれ行った。

## 6. 学術関係

浅田志乃舞：日焼けサロンでの紫外線照射後に発症した DLE の 1 例第 27 回南房総皮膚懇話会 2005 年 9 月 14 日

浅田志乃舞：小児限局性強皮症の 1 例第 11 回 TDK カンファランス千葉 2005 年 11 月 9 日

浅田志乃舞：マムシ咬傷の 1 例第 28 回南房総皮膚懇話会 2006 年 3 月 1 日

浅田志乃舞：高安病に伴った結節性紅斑の 1 例 第 28 回南房総皮膚懇話会 2006 年 3 月 1 日

根本 仁：膝窩だけに皮疹の限られた Hailey-Hailey 病の 1 例 第 27 回南房総皮膚懇話会 2005 年 9 月 14 日

根本 仁：落葉状天疱瘡の 1 例第 11 回 TDK カンファランス千葉 2005 年 11 月 9 日

根本 仁：下腿潰瘍より診断した抗リン脂質抗体症候群第 69 回日本皮膚科学会東京支部学術大会 2006 年 2 月 12 日

根本 仁：Sweet 病より移行した血球貪食症候群 第 28 回南房総皮膚懇話会 2006 年 3 月 1 日

根本 仁：離れた 3 箇所を発症した帯状疱疹の 1 例 第 28 回南房総皮膚懇話会 2006 年 3 月 1 日

神戸有希：特異な皮疹を呈する SLE を疑った症例 第 11 回 TDK カンファランス千葉 2005 年 11 月 9 日

神戸有希：アセトアミノフェンが原因と考えられた TEN の 1 例 第 28 回南房総皮膚懇話会 2006 年 3 月 1 日

田中 厚：Churg-Strauss 症候群の血疱について 第 27 回南房総皮膚懇話会 2005 年 9 月 14 日

田中 厚：悪性黒色腫のセンチネルリンパ節のラジオアイソトープを用いた検査の 1 例第 27 回南房総皮膚懇話会 2005 年 9 月 14 日

田中 厚：眼と口唇の粘膜周囲に高度のびらんを呈した固定薬疹第 11 回 TDK カンファランス千葉 2005 年 11 月 9 日

田中 厚：アナフィラキシー 4 例 - 牛肉の 3 例と毛虫皮膚炎から生じた 1 例第 11 回 TDK カンファランス千葉 2005 年 11 月 9 日

田中 厚：ニキビダニ皮膚炎の 3 例第 28 回南房総皮膚懇話会 2006 年 3 月 1 日

田中 厚：コラーゲン注入療法で、10 年間の"死ぬほどの痛み"が緩和した 1 例第 28 回南房総皮膚懇話会 2006 年 3 月 1 日

文責：田中厚